

## 第2期中期目標のアウトライン

前文 基本的な目標	1 高い知性と豊かな人間性を育み、社会に役立つ人材を輩出する大学 2 地域に根ざし、地域に貢献する大学 3 北東アジアをはじめとする国際的な研究教育を推進する大学	・大学を取り巻く情勢の変化を踏まえ見直し	
I-1 目標の期間	H25. 4. 1 ~ H31. 3. 31		
I-2 基本組織	法人は、島根県立大学及び島根県立大学短期大学部を設置		
II 社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり			
III 大学の教育研究等の質の向上	前文 ・学生への質の高い教育の提供、国際的水準の研究の実施及び成果の公表、競争的資金の獲得の努力を行う。 ・教育研究の質の保証及び改善に向けた不断の努力を行う。		
・今後も大学を発展させていくために社会情勢の変化に的確に対応した大学づくりを進める。	1. 教育	(1) 人材育成の方向性 (2) 教育内容の充実 ①入学者の受入れ ②教育課程の充実 ③成績評価等 (3) 教育の質を高めるための取組み ①教育の質及び教育環境の向上 ②教育実施体制の整備 (4) 学生支援の充実	・「1. 大学の教育研究の質の保証と向上」の記述内容を前文とする。
	2. 研究	(1) 目指すべき研究及び研究の成果の活用 ①目指す研究 ②研究成果の評価及び活用 (2) 研究実施体制等の充実 (3) 研究費の配分及び外部競争的資金の導入	
	3. 地域貢献、国際交流	(1) 地域貢献の推進 ①地域連携センターの活用 ②民間団体等や行政との連携 ③県内教育研究機関等との連携 ④県民への学習機会等の提供 (2) 国際交流の推進 ①海外の大学等との交流 ②留学生の派遣と受入れ ③国際交流推進体制の整備	・企業や県、市町村等との連携強化、民間団体等との協働
IV 自主的、自律的な組織・運営体制の確立	1. 業務運営の改善及び効率化	(1) 運営、組織体制の改善による効率的、合理的な経営 (2) 人事管理の適正化	・この項目を追加
2. 財務内容の改善による経営基盤の強化	(1) 自己財源の充実 (2) 経費の抑制 (3) 監査体制の充実		
V 評価制度の充実及び情報公開の推進	1. 評価制度の充実	(1) 組織を対象とした評価制度 (2) 個人を対象とした評価制度	・危機管理の重要性を踏まえ独立項目とした。
2. 情報公開の推進			
VI その他業務運営に関する重要事項	1. 広報広聴活動の積極的な展開等 2. 施設設備の維持、整備等の適切な実施 3. 安全管理対策の推進 4. 危機管理体制の確保 5. 人権の尊重 6. 環境マネジメントシステムの構築・推進		・環境対策に対する自主的に取り組む姿勢を示

・地域貢献の取組強化

・育成する人材像の明確化  
 ・キャリア教育等、人材育成のための教育内容と学生支援の強化

・危機管理の重要性を踏まえ独立項目とした。

・環境対策に対する自主的に取り組む姿勢を示